

情報連絡員報告総括表(令和8年6月期)
富山県中小企業団体中央会

業種		項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品		醤油・味噌・味噌製造業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	↘	・特になし。
		パン製造業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	・まだまだ原材料費の値上げがつづく。 ・企業の残業食の減少がつづく。 ・スーパー等の関係は、安い物しか売れない。 ・学校関係では、可動日が減少している。
		処理牛乳・乳飲料製造業	→	↘	↗	→	→	→	↘	→	↘	・特になし。
繊維工業		ニット製造業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	→	・価格転嫁は認めていただいている。 ・中東情勢の影響で資材関係のコストUP、エネルギー価格の上昇が収益を圧迫。 ・衣料関係は継続して悪い状況。 ・先行きが不透明な状況が続いている。
		絹人織織物業 絹製造業	↘	↗	→	↘	↘	↘	→	→	↘	・城端産地の化合繊維物並びに絹織物業者は共に急速に進む円安による影響が大きい。原材料や油類や副資材などの諸経費の値上がりが止まらず、企業の収益を圧迫している。末端の商品需要が低迷している状況では値上げ交渉も滞っている。
		綿・スフ織物業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	・エネルギー価格高騰のため、糊材始め、電力料等経費が著しく上昇しており、収益は益々悪化している。

木材・木製品	一般製材業	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	・全国の5月の新設住宅着工戸数は、対前年同月比33.9%増で、2か月連続で前年同月比二桁増となっている。昨年5月は建築基準法改正前の駆け込み後の反動で34.4%減と大幅に落ち込んだため、その反動増が生じたためである。富山県も同じ理由になっており5月の新設住宅着工戸数は、対前年同月比55.7%増の2か月連続前年同月比二桁増となったが、一昨年前の同月比と比べると25%減の厳しい数字である。県内の令和7年度新設住宅着工数はピーク時の平成8年度の約3割まで激減し、この事業環境の厳しさは、50年以上の長い歴史を有し上市町と舟橋村で製材業を営んでいた(株)松田木材を破産申請手続き申請に至らせている。石油関連製品の供給不安は、さらなる新設住宅着工や住宅のリフォームの減少に繋がり、それに伴う木材需要の落ち込みが木材産業関係事業者全体を厳しい経営環境にしている。今後、中小工務店は、工事中断や着工見送りでの、資金繰りへの影響も懸念されている。ロシア材取扱木材関連事業者は、中東情勢の悪化、ロシア現地価格の上昇、40年ぶりの円安などによるコストアップのため厳しい経営環境にある。プレカット工場については、新設住宅着工戸数の減少が継続しており稼働率は上がっていない。
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
業種		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
印刷	印刷業	→	→	↗	→	→	→	→	→	↘	・7月よりインキ、刷版、封筒の値上げが開始される。メーカーからの出荷調整依頼もまだ続いており、状況は厳しいまま。特に梱包用のクラフトテープの入荷が減り、ホームセンターで市販品をばら買いしているところもあり。
化学・ゴム	医薬品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・中東情勢の影響による包装資材、原料の価格上昇が収益を圧迫している。
窯業・土石製品	生コンクリート製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・令和8年6月の県全体の出荷数量は、51,124㎡で、前年同月比約115%と前年実績を5か月連続で上回った。 ・地区別では、新川地区が前年同月比78.6%と前年実績を下回ったものの、富山地区が同124.3%、高岡地区が118.9%、砺波地区が同130.2%と前年を上回る結果となった。
	コンクリート製品製造業	↘	→	↗	→	↘	→	↘	↘	↘	・特になし。
	骨材・石工品等製造業	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	・令和7年度骨材価格については企業努力で価格を据え置きし、令和8年度、令和8年4月1日から骨材価格の値上げを行ったが、人件費、材料費、設備修繕費、運営費等製造コスト増に歯止めがかからない状況が続いており経営は厳しく組合員から令和9年度について値上げの要望が出ており協議を始めている。骨材需要については堅調な状況が続いている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
鉄鋼・金属	銑鉄鑄物業 製 造 業	→	→	→	→	↘	↘	→	→	↘	・中東情勢で資材不足や値上げ、物流停滞が発生し品質維持や工程に影響。価格転嫁は進まない。
	銅・同合金 鑄物製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	↘	・地金の高騰の長期化。
	アルミニウム 製品製造業	→	→	↗	→	→	↘	↘	↘	↘	・特になし。
	建 築 用 金 属 製 品 製 造 業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・団地内企業における目立った事業変化は無し。令和8年度第一四半期(4ー6月期)は、中東情勢の緊迫や円安の進行などがあったが組合員における大きな変動は見られなかった。 ・ジョブ産雇(産業雇用安定センター)との定例情報交換を行った。中東情勢の緊迫による石油由来製品の不足も一時期ほどの逼迫状況になく、製造業においては徐々に落ち着いてきている様子。県西部のコマツ関連企業ではかなり忙しくなっているところが多く、人手不足が顕著になっているとのこと。当団地においても、現業職・スタッフともに人手不足は続いている。AIやロボット関連の設備投資は盛んで、それに係る部品や設備・機械製造は需要が伸びている。(当団地も然り) ・県内の雇用情勢は、求人が求職を上回る状況が続いており、求人倍率は常に全国上位にあるが、最近の求職者はハローワーク(職業安定所)を利用されなくなっている傾向にある。自分に合った職業を見つけてくれる(人材マッチング)民間の職業斡旋期間を利用される求職者が増えていることによるが、求人サイド(企業)にすれば多額の費用(成功報酬)がかかるため、なかなか利用し難い。特に中小企業においてはその費用対効果(マッチングの成否)もあって利用に二の足を踏まれるところも多い。一方で、ジョブ産雇は無料で求人・求職のマッチングを図り、採用した企業での定着率も高いので、当団地でも利用している。(雇用情勢における情報交換もできる。) ・6/16に組合員による今年度第1回目の安全衛星委員会を開催。7/1～7/7に実施される全国安全週間の取り組みについて話し合った。今年は、作業環境での安全取り組みに加えて、特に出退勤時の交通安全について意識することとした。(団地内は朝夕の交通量が多く、危険な交差点が2か所あるため、特に注意が必要)
	めっき加工業	↗	→	→	→	↗	→	↗	↘	↗	・売上高については、取引先からのめっき依頼が増えており、増加傾向。増収効果もあり、収益状況も改善している。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	セメント卸売業	↘	→	→	→	→	→		→	→	・6月は前月同様天候に恵まれこと、またダム関連工事・震災関連の法面工事が稼働してきたが、進捗率は対前年同月比で75.0%と前年同月比を大幅に下回った。原因として利賀ダム工事で一部が袋セメント→バラセメントへ変更となり減少した。今後もバラへの移行が考えられ下振れ要因となる。他の工事は順調に受注予定と聞いてはいるが、来月以降の売り上げを注視していきたい。
	非鉄金属製品卸売業	→	→	↗	↘	↘	↘		→	↘	・鉄、アルミ、亜鉛、鉄、その他原材料のすべてが高騰、燃料費、副資材費、そして人件費と原価にかかるすべてが上昇している中、価格転嫁しても高岡銅器業界が製造するものは必需品ではないため需要が減るだけ。同じ用途であれば、他産地の異素材の商品にスイッチしてしまう。現状、需要は劇的に減っており、一つは高岡銅器である必然性のある商品の開発、もう一つは高騰した価格でも価値を認めて購入してくれる市場と販路を模索している。
小売業	鮮魚小売業	↘	→	↘	→	↘	→		→	↘	・売り上げが伸びず全体としては、依然として景気が悪く、悪化傾向である。
	食肉小売業	→	→	↗	↘	↘	→		→	↘	・ナフサ関連の商品の仕入れが、最大30%上昇した。牛肉も年末のように高くなっており収益を圧迫している。豚肉も相場の上昇により仕入価格が高くなっており、輸入の鶏肉も同じである。
	野菜・果実小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・6月の卸売市場は、入荷数量が110%、kg単価が99%で売上が109%となった。 ・6月の組合員の取扱高は、昨年対比103%であった。4～6月累計で昨年対比95%。
	家庭用電気機械器具小売業	↘	↗	↘	→	↘	→		→	↘	・特になし。
	自動車小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・特になし。
	ガソリンステーション	↘	↘	↗	↘	↘	↘		↘	↘	・組合員(SS)をめぐる状況は、カーボンニュートラルの進展に伴うガソリン等の需要減が見込まれることや大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制など、基本的に経営環境が厳しい。米国とイランとの戦闘終結に向けた覚書署名があり原油価格の下落も見られるが、その後の最終合意に向けた交渉が必ずしも順調には進んでおらず、先行きに不透明感がつきまとう状況が続いている。 ・県内では、引き続き需要の回復感が弱く、また利用者の物価高による節約志向もあつてか、ガソリン販売量は減少が続いている。 ・販売価格は、イラン情勢の緊迫化を受けて3月中旬に急騰したものの、国による緊急的激変緩和措置(いわゆるガソリン補助金)により下落し、その後、落ち着いている。6月29日現在、5月25日との比較で1Lあたりレギュラーガソリンが0.1円、ハイオクガソリンが0.2円それぞれ上昇、軽油が同額と、全体としてはほぼ横ばいとなっている。

	スポーツ用品 小 売 業	↗	↘	↗	↘	↘	→		→	→	・特になし。	
	ショッピング セ ン タ ー	↘	→	→	↘	↘	→		→	→	・深刻度が増している物価高による節約志向の更なる強 まりで売上は伸びない。水道光熱費や修繕費などの更 なるコスト増大。	
業種		項目	売 上 高	在 庫 数 量	販 売 価 格	取 引 条 件	収 益 状 況	資 金 繰 り	設 備 操 業 度	雇 用 人 員	業 界 の 景 況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現 状等、企業経営・業界での問題点)
商 店 街	商 店 街	→	→	→	→	→	→			→	→	・昨年に比べ気温がさほど高くなかったこともあり、人出 はまずまずであったが、洋服店では、真夏仕様の購入 が伸びなかった。中旬に新たに開店した飲食店が来街 者の関心を呼んでおり、商店街への良い影響に繋がる ことを期待している。
	商 店 街	↘	→	↗	↘	↘	↘			→	↘	・特になし。
サ ー ビ ス 業	情報サービス業	→			→	→	→	→		→	→	・対米ドルの為替の動向が気にかかる。
	クリーニング業	↘			→	→	↘	→		→	↘	・特になし。
	飲 食 業	↘			↗	→	↘	→		→	↘	・昼・夜とも来店客が減少。昨年同月比9%減。
	建 築 設 計 業	→			→	→	→	→		→	→	・特になし。
	自 動 車 整 備 業	→			→	→	→	→		→	→	→

建設業	鉄骨・鉄筋工事	↘		↘	↘	↘	↘		→	↘	・大型物件に使用されるプレスコラムの受注が増えてきているとのこと。今後大型物件が順調に出件されれば良いが、現実には相変わらず大小を問わず物件は少ない。鉄鋼メーカーや鉄鋼特約店の値上げ攻勢は厳しく、今後さらに厳しい受注活動が続くものと思われる。
	一般土木建築工事	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	管工事業	→		→	→	→	→		↘	→	・今年度の資格習得に関する講習会を5項目予定している。毎年講習会への参加人数が減っており、採算面でマイナスになるが技術者定着には必要であり予算を捻出しても開催する予定である。 ・管工事業界の人手不足対策と外国人財活用受入成功事例として講演を開催した。
	電気工事業	↗		↗	→	↘	→		→	↗	・公共工事、設備投資、住宅着工等工事量は前年より増加。中東情勢の影響も現状は一部資材に限られ影響は小さいものの、設備投資抑制の動きが不安である。エネルギーコストや原材料価格、人件費の上昇により収益状況は悪化している。
運輸業	道路貨物運送	→		→	→	↘	→		→	↘	・軽油価格が昨年同月比で＋14円/L前後となったことで収益状況が減少傾向にある。 ・物量全体が減少しており、景況は悪化した。
	道路貨物運送	→		→	→	→	→		→	→	・燃料価格は前年同月比＋11.2円/Lと高値。物量は、99.0%と前年並みであった。

